

# L'aile d'Howl

【ライル・ドウル・ホウルの翼(仏語)】

2011年6月号



イベント盛りだくさんで関係者も嬉しい  
悲鳴をあげています！夏に向けて  
ハンドまっしぐら！



1

## めざせ地元開催のインターハイ出場！高校生が燃える

5月27日～30日、ついに高校生の正念場である県高校総体が開催されました。今年の夏、北東北インターハイの開催地となる花巻市総合体育館に県内の高校生ハンドボールが一同に集結しました。今回は岩手県代表のほか、開催地枠で出場するチームを決定するため、2日目まではトーナメント戦でベスト4まで選出、その後2日間はベスト4チーム同士によるリーグ戦という特別な日程が組まれました。例年よりも試合数が増える今年、被災地である釜石高校女子部キャプテンの選手宣誓により、熱い戦いの火蓋が切られました。



まず男子ですが、今年こそ全国大会3位の壁を打ち破りたい不来方高校が順調にベスト4入り。日本TV系列の人気番組「笑ってコラえて！」の「男子ハンドボール部の旅」に取り上げられている不来方高校には、常にテレビ局の撮影スタッフが密着。総合体育館には撮影用の特殊やぐらが組み、普段とは違う環境にプレッシャーもあったかもしれませんが、それを感じさせない活き活きとしたプレーを展開しました。米田智哉選手、中花仁選手、そして齊藤凌選手(3名とも花巻クラブジュニア→花巻北中OB)も各試合で活躍し、選手層の厚さを見せ付けていました。昨年全国高校選抜大会に出場した盛岡一高は、新1年生が加わりメンバーも充実。全国ベスト8入りした松園中から進学した藤原竜郎選手や佐々木陸選手(ともにリトルハンドOB)は既にレギュラーメンバーに定着しつつあります。今回

ベスト4入りが期待された花巻北高は、主力の畠山航選手(花巻クラブジュニア→花巻北中)を怪我で欠き、残念ながら決勝リーグへ進出できませんでした。また、盛岡南高と盛岡中央高はベスト4をかけて一進一退の攻防を披露。最後までシーソーゲームの展開を1点差で制した盛岡中央高が、決勝リーグへ駒を進めました。

続いて女子ですが、こちらも連覇を狙う不来方高が、昨年のJOCメンバーを大幅に補強し、その新1年生も効果的に使いながら他を寄せ付けぬ強さで順調に勝ち進みます。一方、昨年度末の幻の全国高校選抜大会へ出場権を得ていた盛岡二高は、予選トーナメント緒戦で盛岡女子高に苦戦を強いられます。花巻南高を破り決勝リーグへと駒を進めたものの、白百合高や盛岡南高に勝ちきれぬかが注目されました。

なお、残念ながら決勝リーグへの進出はならなかったものの、花巻北高からは古館禎樹選手(花巻クラブジュニアOB)、菅野彩葉選手、そして花巻南高からは八重樫佳奈子選手が特別敢闘賞に選ばれています。



迎えた決勝リーグ、盛岡一高は盛岡中央高戦で、エースの中田優磨選手が負傷。一方、男子盛岡三高は、不来方高戦に主力メンバーを温存し、盛岡一高戦へ勝負をかけます。エースが思うように動けない状態で、試合は盛岡三高が優勢のまま後半まで進みます。しかし後半残り数分の場面で盛岡一高が一気に逆転。2点差とし、最後にシュートを決められるも1点のリードを守りきった盛岡一高が意地の勝利！左腕エース大津選手や大事な場面でのセーブが光った武蔵GKの活躍も特筆に値しますが、負傷した足でコートに立ち続けた中田選手の頑張りも勝利の要因であったことは確かです。全勝同士の対決となった最終日は、齊藤凌選手、安倍竜之介選手と2人のオリンピック



有望選手を擁する不来方高が、5点差で盛岡一高を下し、14年連続となる優勝を飾りました。なお、最優秀選手には長沢誠選手(矢巾フェニックス→矢巾北中)が選出されました。

女子決勝リーグも混戦となりました。不来方高のエース藤原千寛選手(花巻クラブジュニア→花巻中)にはマンツーマンDFが敷かれますが、危なげなく全勝し、9連覇での岩手県代表杯を勝ち取ります。一方、注目の開催地枠争いですが、波に乗り切れなかった盛岡二高を白百合高が2点差で撃破！嬉しいインターハイ初出場を決めました！なお、不来方高のセンタープレーヤーとしてチームを引っ張った佐藤明日香主将が最優秀選手となりました。



男女の上位2高は6月末の東北高校総体、そして地元開催となるインターハイへ出場します！地の利を活かし、幻となった全国高校選抜大会の分まで、そして東日本大震災後に寄せられた全国からの励ましに応え、「岩手ここにあり」という戦いを見せてほしいと思います！



2

## 大人も負けない 東北大会に行ってきました！

去る6月18日～19日、山形県東根市において、第34回東北クラブ選手権及び第16回ジャパンオープンハンドボールトーナメント(以下JOT)東北予選会が開催されました。震災の影響で東根市総合体育館が損傷したため、今回は東根工高及び北村山高の体育館を使用して大会が行なわれました。東北クラブ選手権には男子・不来方クラブ、岩手教員クラブ、女子・萩江クラブが出演。そしてJOTには男子・花巻クラブ、女子・白梅三英英会、岩手桐花クラブ(出場2チームのみ)が参加しました。



JOT男子の部は、今回青森県、宮城県が出演を見合わせたため、4チームによるリーグ戦となりました。花巻クラブはHC秋田との緒戦は、5点差で折り返した前半の差を最後まで埋めることができず、29vs24で敗れましたが、初日2試合目のHC福島戦では後半最後まで粘り、2点差のリードを守りきって勝利を収めました。最終結果は、全勝のHC秋田が優勝、山形新球会が準優勝、花巻クラブが3位となりました。岩手対決となった女子の部は、白梅三英英会が26vs19で勝利し、本選へ弾みをつけました。なお、今回JOTに参加した3チームは、8月初旬に岐阜県で開催されるJOT本選大会への出場権を得ております。

一方の東北クラブ選手権ですが、男子・岩手教員クラブは緒戦で青商クラブに敗退しますが、不来方クラブは順調に駒を進め、決勝で青商クラブを26vs20で破り、見事優勝を飾りました。これにより、不来方クラブは、東日本クラブ選手権への出場権を獲得しました。

全国大会及び東日本大会へ出場する上記のチームは、震災に負けずに頑張っている岩手・東北を是非アピールしてきて欲しいと思います！



がんばろう岩手！  
がんばろう東北！

L'aile d'Howl(ライル・ドウル)  
2011年6月号  
2011年6月25日発行  
発行:花巻市ハンドボール協会